

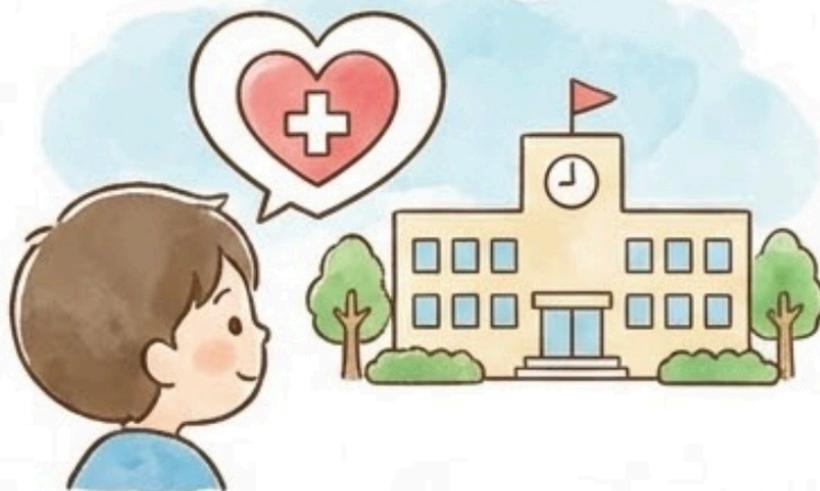
# かみさか たつあき

公明党さいたま市議会議員 市政レポート VOL.85



**学校に行けなくても、健康を守れるまちに！**

**「不登校児への検診費用の補助」を！**



- ✓ **学校外で健康診断を受けられる体制整備の構築**  
※協力医療機関等での個別受診の推進
- ✓ **受診に伴う「健診費用への補助制度」の創設**  
※保護者の経済的負担を軽減し受診を後押し

さいたま市において、不登校の状態にある児童生徒数は年々増加しており、喫緊の課題となっています。現在、学校に通えていないことにより、年に一度の「学校保健安全法」に基づく健康診断を受けられない子どもたちが少なくありません。「病気の早期発見」や「身体の成長の確認」は、すべての子どもが等しく保障されるべき大切な権利です。そこで、会派代表質問において、「学校に行っているかどうか」で健康管理に差が生じることのないよう、先の仕組みづくりを強く求めました。

すべての子どもの育ちを支えることは、市の責務です。さいたま市が「どのような状況にある子どもも見守り、支えるまち」であり続けるよう、早期実現に向けて全力で取り組んでまいります。

発行者：さいたま市議会議員 神坂達成 さいたま市緑区中尾2411-2

Mail : [kamisaka@komei-saitamacity.com](mailto:kamisaka@komei-saitamacity.com)

暮らしの相談や、お困りごとなどございましたら、お気軽にご連絡ください。

かみさかたつあきの最新情報やお困りごとのご相談は公式LINEのこちらから⇒



# 小1の壁を突破する朝の預かり 実証実験がスタート！

保育園では朝7時台に預けられたのに、小学校に入ると  
8時過ぎまで家を出られない——。



多くの子育て世代が直面してきた「小1の壁」。その大きな要因であった「登校前の空白時間」を解消するため、かみさかたつあきが議会で強く訴え続けてきた「朝の居場所づくり」が、ついに実証実験として実現する運びとなりました。「仕事に間に合わない」「子供を一人で留守番させるのが不安」という切実な声から、この提案は始まりました。保護者の就労支援と子供の安全確保の両立を最優先課題と位置づけ、議会で提案を重ねた結果、実証実験の開始を勝ち取ることができました。

## 実証実験のポイントと今後の展開

今回の実験では、小学校で通常の登校時間よりも早い受け入れを実施し、指導員の見守りのもとで読書や自習を行える環境を整えます。

- ✓保護者の安心：出勤時間を遅らせることなく、安心して仕事へ向かえます。
- ✓子供の安全：登校までの時間を一人で家や路上で過ごすリスクを減らします。
- ✓市政の進化：この結果を検証し、市内全域への拡大と本格導入を目指します。

## 「実行力」で、さいたま市の未来を創る

「政治は、生活の困りごとを解決するためにある」これが、私の信念です。今回の実証実験はあくまで第一歩。これを皮切りに、子育て世代がキャリアを諦めることなく、子供たちが健やかに育つ「子育て先進都市」の実現に向けて、これからも現場の声を形にしてまいります。



## 「5歳児健診」導入を実現！ 特性の早期発見、支援へ



小学校入学前に、子どもの発達や特性を確認し、必要な支援につなげることで、入学後の不安やつまずき（いわゆる「小1プロブレム」）の予防に役立ちます。また、園から小学校へ支援を引き継ぐ体制を整えることで、入学後も一人ひとりに応じた配慮が届きやすくなります。今後も、保護者の不安に寄り添いながら、子どもたちが安心して学び始められる環境づくりに取り組んでまいります。